

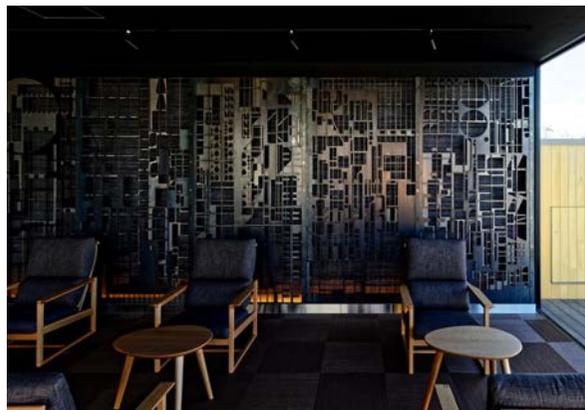
Artist Profile

# 西永拓郎

Takurou Nishinaga



1984年生まれ、愛媛県松山市出身。幼少より家業である鉄工所で、父が余暇に制作していたボルトを使ったバイクや銅板を折った折鶴などの作品に影響を受け、自然とモノづくりにのめり込む。宇和島東高等学校商業科を卒業後、(有)西永工業に就職。父より金属加工の技術を学ぶ。2006年より始めたレーザー加工機を用いた日用品・オブジェ・アート作品が有名クリエイターや建築家の目に止まり、2019年にニューヨークで開催されたカナモノアート展に参画。2018年から建築家の辻真悟氏が手がける道後御湯や道後hakuroなどホテル建築に参画し、鉄の新たな魅力を伝える調度品やインテリアアートが脚光を浴びる。“鉄がもっと表舞台に立って、輝く存在になれば…”そんな思いが実を結び、鉄を自由自在に操るアーティストとして、将来が期待されている。



西永拓郎

繡天 (しゅうてん)

2021

sus316L

長さ2140 × 幅1700 × 高さ1200

水面に映る空を一度バラバラにして美しく縫い合わせる感

